

令和6年9月14日(土)に愛知県教育委員会 ICT教育推進課 担当課長 古関利勝氏を迎え、「高校におけるICT教育を理解し、看護基礎教育のICT教育に活かす視点を学ぶ」というテーマでオンライン研修会を開催いたしました。岐阜県・愛知県・三重県・静岡県・石川県・富山県内の協議会会員校、非会員校の看護教員233名の方々にご参加いただきました。

講演では、愛知県立高等学校のICTの環境整備状況、授業・校務におけるICTの活用状況などを具体的に教えていただきました。ICT教育を進めていく中で環境を整備するには予算確保が必須であり、そのためにはICTの必要性や効果など客観的データを用いて訴えつつ、補助金等も効果的に活用しながら進めていくことが重要だと話されました。

また、難しいことを一部の人が取り組んで進めていくのではなく、簡単なことから多くの人が取り組んでいくことがICT教育推進の鍵を握っているとのことでした。

まずは私たち教員が日々の業務の中で簡単なことからICTを活用して効率さや便利さを感じることで、授業への活用のハードルを下げるが必要だと思いました。

次に授業における活用方法や学生の反応などを教員間で活発に情報交換することで、授業での活用イメージが膨らみ、自分の担当科目でやれるかも？やってみようという意識改革につながり、ICT教育の体制が整っていくのではないかと思います。

ICT教育の推進には、“教員が日常的に使っていくことに尽きる”と感じた研修でした。

